

## 事業計画書

事業名	街なかの歴史的ストックを活用し市民アートでまちづくり
実施場所	沼津市中心市街地・・・沼津駅～仲見世～新仲見世 界隈
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日

### ◎事業概要

※事業の概要を 100～200 字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

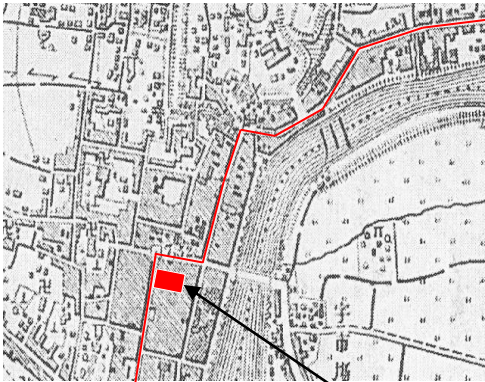

沼津市中心市街地において、ビルが解体された結果、隣にあるビルの壁面があらわにされた場所がたくさん存在する。その味気ない無表情のコンクリート壁面を市民アートで描くことによって、街なかを元気にする。

### ◎目的

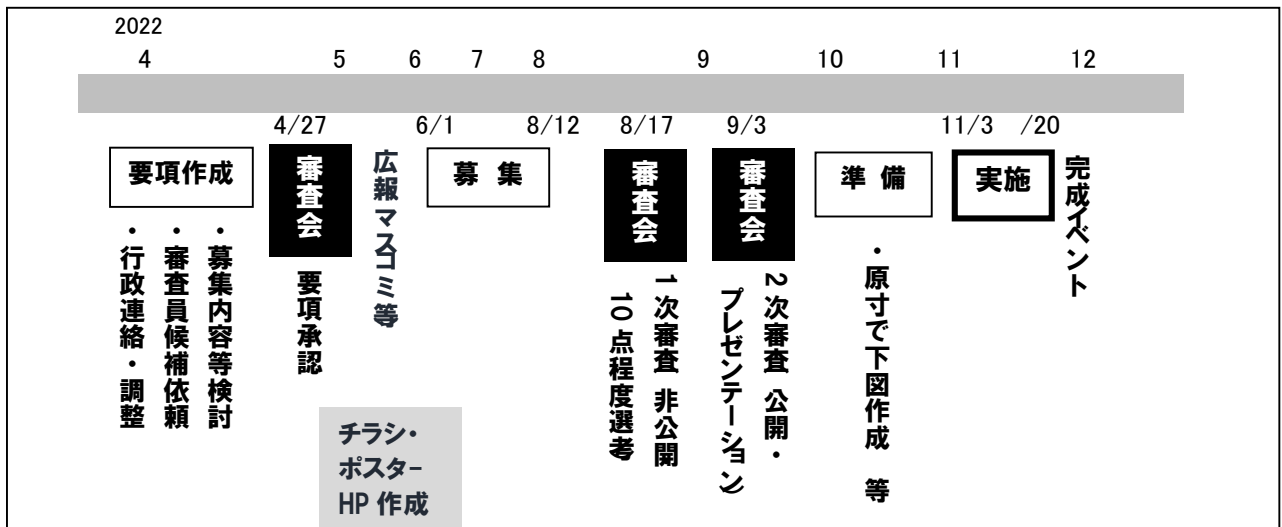
※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

行って楽しい、歩いて楽しい、ワクワクする楽しい街なかでありたい、そのために市民ができる中心市街地に活気を取り戻す方法はないだろうか。街なかの味気ない無表情のコンクリート壁面を何とかできないか、そうだ市民アートによってできるのではないかと考えた。発案から折衝・交渉・理解・承諾、そして実施まで市民に広報し市民と共有するまちづくりイベントとして実践する。

### ◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>○旧東海道沿いに位置する「安田屋ビル」・・・「壁に絵アート」第 1 号として計画を進めていく。                      ○安田屋ビルは、中心市街地に 33 箇所存在する壁の一番南に位置するが、最も広い空間であり、よく目立つ場所であり、旧東海道が折れ曲がる歴史に刻まれた場所でもある。                      ○この場所から「壁に絵アート」プロジェクトを開始したい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>旧東海道 1887(明治 20)年 安田屋ビル</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;">  <p>2021 年</p> </div> </div>

## ◆スケジュール



第1回審査会 4月27日(水) 13:30~15:00

プラサヴェルデ 403 会議室・・・「壁に絵アート」の市民公募要項の検討・協議

第2回審査会(非公開) 8月17日(水) 13:30~17:00

プラサヴェルデ 401

1次審査: 応募作品の選考(10点程度)

第3回審査会(公開) 9月3日(土) 13:00~17:00

プラサヴェルデ 301・302

2次審査: 応募者プレゼンテーション・1点選考

## ◆壁に絵アート募集要項 基本事項

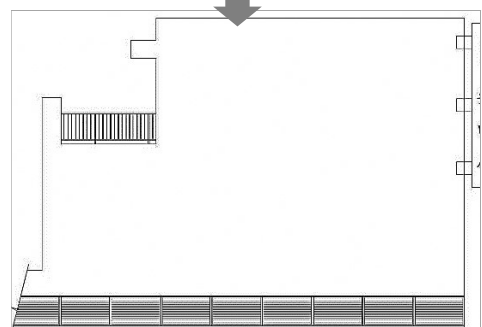
- ・**応募の条件** 沼津に縁のある人・沼津に思い入れのある人  
(作品の別紙に沼津への思いを書いてもらう)
- ・**年齢** 高校生以上
- ・**募集の期間** 2022年6月1日~8月12日
- ・**対象** 安田屋ビル北側壁面(住所と図面と写真を添付)
- ・**テーマ**「沼津の歴史・環境・自然」  
旧東海道沿いに立つ建物にふさわしいアート  
沼津の歴史・自然・未来に向けたメッセージ
- ・**大きさ** A3
- ・**色等の条件** 彩色、色数は無制限
- ・**審査の方法** 専門家・美術家等で構成する審査会を設置する
- ・**著作権** 応募作品は主催者に帰属する



2021年8月



2022年2月



## ◆審査員 敬称略

東 恵子	東海大学名誉教授
青木一香	美術家
岡田典久	本町区商店連盟会長
安田政義	安田屋ビルオーナー
峯 知美	つじ写真館
石橋 剛	日本建築家協会静岡地域会会長
塩見 寛	街なかを元気にするまちづくりの会代表

## ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

- 歴史的ストックを有効に活用することにより、歴史的な場所を認識し場所の価値を上げる
- 中心市街地のスポンジ化に対して、スポンジ化の象徴としてのコンクリートのビルの壁で囲まれた空間を市民アートによって描くことにより、醜く汚い公共の場の空間を美しくすることになり、街なかをワクワクする空間に造り変える
- 1箇所だけにとどまらず、すべての壁面を対象にすることによって、街なかを元気にしていく
- 街なか楽しい空間であることを再認識するようになり、街なかに人を呼び込むことにつながる
- 無表情な味気ないコンクリートの壁面を市民アートによって造り変えることができることをアピールすることになる
- 市民の力によって街なかを元気にする方法があることを市民に認識してもらうことができる

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。
	壁面アートを見て立ち止まる人の数		人通りの多い時間帯における調査 (立ち止まる人の数をカウント)

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の場にある壁面を市民アートにより描くことで、市民が共有できる空間とすることができる</li> <li>・「壁に絵アート」の絵は広く市民に公募する</li> <li>・「壁に絵アート」を描くプロセスを市民に見える化・・・構想、企画段階から SNS 等により情報発信し、市民と共有する／街なかを廻ってもらうことをイベントとして企画する</li> </ul>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地のスポンジ化に対して、スポンジ化の象徴としてのビルの壁で囲まれた空間を市民アートによって描くことにより、街なかをワクワクする空間に造り変える</li> </ul>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アートによる共通認識に基づきコンクリート壁を造り変えること、これは街なかを元気づける上で画期的なこと</li> </ul>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などにどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アートによる壁面アートは、1箇所だけにとどまらず、街なかのすべての壁面を対象にすることによって、街なかを元気にしていく</li> </ul>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係商業者・商店組合等、及び沼津市関係課へも説明し理解を得ている</li> <li>・安田屋ビルの所有者に説明し、理解され賛同と承諾が得られているので、令和4年中の「壁に絵アート」プロジェクト第1号の完成が見込まれる。</li> </ul>
<p>活動に対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無表情で味気なく醜い「壁」が存在することに対して何とかしたい思い</li> <li>・街なかを活気ある、ワクワクする空間にしたい</li> <li>・賛同する市民・仲間によって協働で取り組みたい</li> </ul>

## ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

- 安田屋ビルの「壁に絵アート」プロジェクト第1号が完了したのち、ビルの所有者・管理者等と交渉し、説明し理解を求めて、第2号、第3号を実現するため進めていきたい。
- 一番実施したいと考えているビル壁面は、沼津駅前の8階建てエイブル・コアビルで、高さも最も高く、壁面の面積も最も大きい。西武百貨店が撤退し解体されたことにより、大きな壁面が出現した。沼津駅の真正面に位置し、“沼津の顔”になり得る空間である。



## ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

- 令和2年度まちづくりファンド事業スタート支援事業の採択を受け、構想づくり、実施プログラム作成を行う。
- 令和3年3月、「街なかを市民アートでまちづくり構想提案」を仲見世商店街、新仲見世商店街、銀座通り、さんさん通り、本町通りの各商店街組合に説明し理解を得ている。
- 令和3年12月及び令和4年1月、安田屋そば店、安田屋ビル・オーナーに説明し、理解され賛同と承諾が得られている。  
また、「壁に絵アート」の作業はビルの壁の前を作業スペースにすることから、安田屋ビルに隣接するスルガ銀行駐車場を一時期使用することになることをスルガ銀行及び駐車場を管理する三井リパークに説明し、理解を得ている。

## ◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。